

# 日本スポーツ理学療法学会 情報戦略・IR委員会 2022年度調査報告

---

2022年11月18日

日本スポーツ理学療法学会 情報戦略・IR委員会

## 情報戦略・IR委員会 委員名簿

氏名	所属	
相澤 純也	順天堂大学	理事長
寒川 美奈	北海道大学	副理事長
鈴木 仁人	横浜スポーツ医科学センター	副理事長
永野 康治	日本女子体育大学	総務担当理事
田村 耕一郎	広瀬医院	委員長
青木 信裕	札幌医科大学	委員
江玉 睦明	新潟医療福祉大学	委員
小泉 圭介	東都大学	委員
野崎 展史	日本理学療法士協会	委員
遠山 美和子	八王子スポーツ整形外科	委員(庶務担当)
平野 佳代子	井戸田整形外科名駅スポーツクリニック	委員
福本 貴彦	畿央大学	委員

## 調査項目

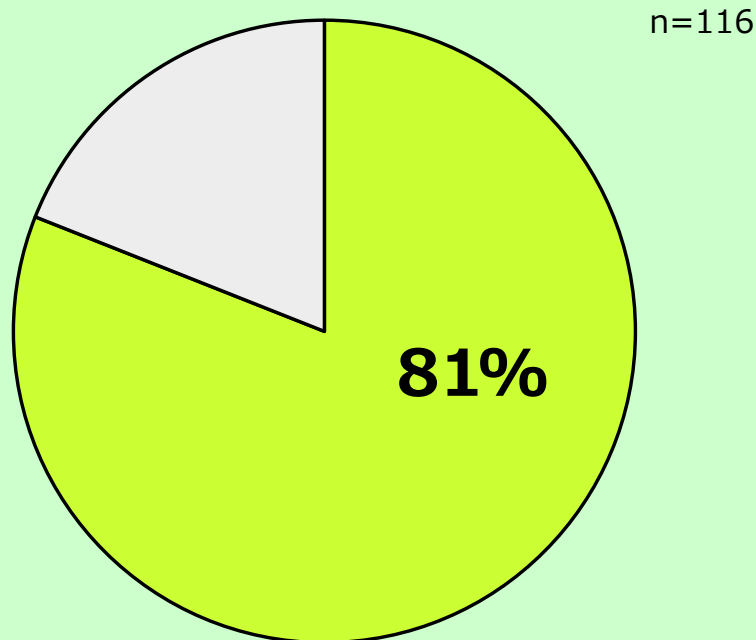
---

1. 国内4年制大学で「スポーツ理学療法」のつく科目をもつ大学とその割合
2. 国内大学院で「スポーツ理学療法」のつく科目をもつ大学院とその割合
3. 理学療法士が学長を務める4年制大学、専門職大学の数
4. 過去10年の理学療法士国家試験でスポーツ理学療法関連問題の数、割合
5. 日本学術振興会科学研究費補助金で行われている課題で「スポーツ」及び「理学療法」がタイトル、キーワード、目的に含まれている課題とその割合

# 1. 国内4年制大学で「スポーツ理学療法」のつく科目をもつ大学とその割合

## 【調査結果】

該当する養成校は、文部科学省所管の4年制大学  
(116校)のうち、94校(81%)。



■ スポーツ理学療法のつく科目を持つ大学 □ その他大学

## 【方法】

### ○データ抽出の際に利用した情報ソース

- ・日本理学療法士協会が公開する養成校一覧 ([https://www.japanpt.or.jp/about\\_pt/aim/training/](https://www.japanpt.or.jp/about_pt/aim/training/))
- ・各養成校の公式ホームページ(学校紹介及びシラバス)

### ○データ抽出の際に用いた定義

- ・対象を養成校のうち、文科省所管の4年制大学とし、専門基礎科目名に「スポーツ」と「理学療法」または「リハビリテーション」が含まれる、もしくは専門科目名に「スポーツ」が含まれるもの。

## 【課題】

科目名に「スポーツ」や「理学療法」、「リハビリテーション」は含まないが、実際の授業ではスポーツ理学療法を扱う場合や、その反対の可能性もあり、「スポーツ理学療法のつく科目」の養成校数を正確に反映できていない可能性がある。

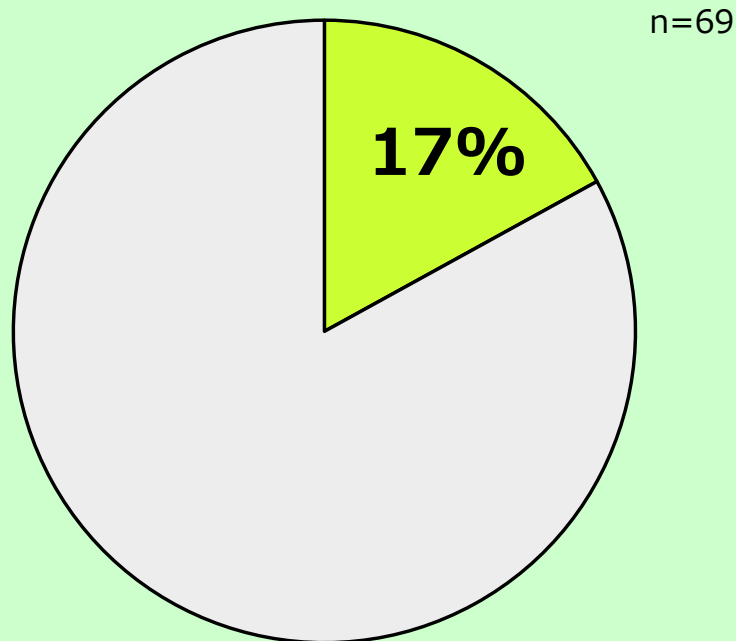
本データの活用法を踏まえ、「スポーツ理学療法のつく科目」のより詳細な定義がされると、より詳細な調査を実施することも可能と考える。

報告者：小泉圭介（東都大学）、遠山美和子（八王子スポーツ整形外科）

## 2. 国内大学院で「スポーツ理学療法」のつく科目をもつ大学院とその割合

### 【調査結果】

該当する大学院は、養成校に付随する大学院  
(69校)のうち、12校(17%)



■ スポーツ理学療法のつく科目を持つ大学院 □ その他大学院

### 【方法】

#### ○データ抽出の際に利用した情報ソース

- ・日本理学療法士協会が公開する養成校一覧 ([https://www.japanpt.or.jp/about\\_pt/aim/training/](https://www.japanpt.or.jp/about_pt/aim/training/))
- ・各養成校の公式ホームページ (学校紹介及びシラバス)

#### ○データ抽出の際に用いた定義

- ・対象を養成校に付随する大学院とし、科目名に「スポーツ」と「理学療法」または「リハビリテーション」が含まれるもの。

### 【課題】

科目名に「スポーツ」や「理学療法」、「リハビリテーション」は含まないが、実際の授業ではスポーツ理学療法を扱う場合や、その反対の可能性もあり、「スポーツ理学療法のつく科目」の大学院数を正確に反映できていない可能性がある。

本データの活用法を踏まえ、「スポーツ理学療法のつく科目」のより詳細な定義がされると、より詳細な調査を実施することも可能と考える。

報告者：小泉圭介（東都大学）、遠山美和子（八王子スポーツ整形外科）

### 3. 理学療法士が学長を務める4年制大学、専門職大学の数

#### 【調査結果】

該当する養成校は、文部科学省所管の4年制大学（116校）及び文部科学省又は厚生労働省所管の4年制専門職大学（6校）のうち、5校。

理学療法士が学長を務める4年制大学、専門職大学

- ・日本医療大学（学長）
- ・埼玉県立大学（学長）
- ・了徳寺大学（学長）
- ・聖隷クリストファー大学（学長）
- ・高知リハビリテーション専門職大学（学長）

#### 【方法】

##### ○データ抽出の際に利用した情報ソース

- ・日本理学療法士協会が公開する養成校一覧 ([https://www.japanpt.or.jp/about\\_pt/aim/training/](https://www.japanpt.or.jp/about_pt/aim/training/))
- ・各養成校の公式ホームページ（学校紹介及びシラバス）

##### ○データ抽出の際に用いた定義

- ・対象を養成校のうち、文科省所管の4年制大学及び、文科省又は厚生省所管の4年制専門職大学とし、その学長又は総長が理学療法士資格を有するもの。

#### 【課題】

ホームページ上に学長又は総長の経歴が掲載されていない養成校もあり、本結果が実際より少ない値となっている可能性がある。

報告者：小泉圭介（東都大学）、遠山美和子（八王子スポーツ整形外科）

## 4. 過去10年の理学療法士国家試験でスポーツ理学療法関連問題の数、割合

### 【調査結果】

全200問の試験問題のうち、  
該当する問題出題数は以下のとおり。

- ① 関連度が比較的高い問題  
0～3問／200問（0～1.5%）
  
- ② 関連性のある問題  
0～2問／200問（0～1%）
  
- ① + ② = 1～4問／200問（0.5～2%）

### 【方法】

#### ○データ抽出の際に利用した情報ソース：

- ・厚生労働省が公開する過去10年分の理学療法士国家試験問題

#### ○データ抽出の際に用いた定義

- ・スポーツ理学療法に関する問題を①関連度が比較的高い問題：明らかにスポーツ傷害に関する問題②関連性のある問題：スポーツ傷害への関連性は低いですがスポーツに関連する問題と定義した。

### 【課題】

スポーツ理学療法に関する問題は、運動器領域や評価・測定領域と重複しているため、それらを除き明らかにスポーツという記載がある問題のみを集計した。

スポーツ理学療法は分野横断的な領域であり、広義のスポーツ理学療法と定義し集計した場合には出題数は多くなると考えられる。

報告者：小泉圭介（東都大学）、遠山美和子（八王子スポーツ整形外科）

## 5. 日本学術振興会科学研究費補助金で行われている課題で「スポーツ」及び「理学療法」がタイトル、キーワード、目的に含まれている課題とその割合

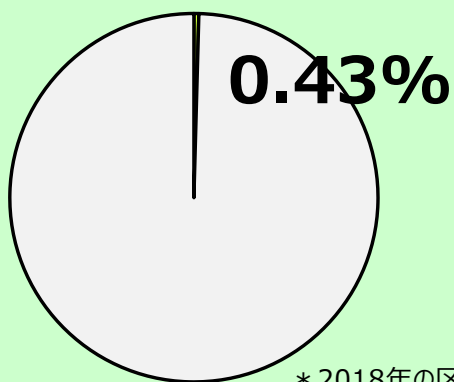
### 【調査結果】

#### 【キーワード】

- ・スポーツ（採択研究課題数：18,975件）
- ・理学療法（2,988件）
- ・スポーツ理学療法（31件）
- ・スポーツリハビリテーション（20件）

リハビリテーション科学関連（小区分）に含まれるスポーツ理学療法をキーワードとする演題数の割合、  
7/1620件、0.43%。

n=1,620



\* 2018年の区分変更以降での検討

■ 理学療法をキーワードとする演題    □ その他演題

### 【方法】

#### ○検索方法

- ・JSPS 科研費電子申請システム

#### ○期間

- ・2000年～2022年（11月11日現在）

### 【課題】

- ・「スポーツ理学療法」や「スポーツリハビリテーション」をタイトル、キーワードに使用している採択課題は非常に少ない。
- ・「理学療法」や「スポーツ理学療法」のキーワードが使用されている審査区分（小区分）の代表が「リハビリテーション科学関連」であるが、その内容の中に「理学療法学」は記載されているが、「スポーツ理学療法」や「スポーツ理学療法学」という用語は記載されていない。そのため、スポーツ理学療法に関する研究においてもキーワードとして使用している採択課題が少ないと考えられる。
- ・今後は「スポーツ理学療法学」という学問の理解、認知度をどのようにして学術分野で高めていくかが課題と考える。

報告者：江玉睦明（新潟医療福祉大学）